(別紙１)

**応募書類別紙**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **1.申請者概要** | | | |
| 名称：○○株式会社 | | | 代表者役職氏名：代表取締役○○○○ |
| 住所：○○県○○市○○町０－０－０\_○○ビル○階 | | | |
| 電話番号：００００－００－００００ | | | 業種：産業中分類で記載 |
| e-mail：\*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*.co.jp | | | |
| 設立年：　　　　　　　　　　　　　　　　　　年 | | | 法人番号： |
| 資本金(出資金)：　　　　　　　　　　　○○千円 | | | 職員数：　　　　　　　　　　　　　○○人 |
| ホームページ(URL)： | | | |
| 相談対応可能数： | | | |
| 補助事業者の  問い合わせ先 | 担当者氏名 |  | |
| 電話番号 |  | |
| e-mail |  | |

|  |
| --- |
| **2.海外展開・新市場開拓等に成功した支援実績（代表例を３つ記載）** |
| 実績（１） |
| どのような事業者に対して支援を行ったか、支援によってどのような成果があったのか具体的に記載してください。（支援企業の社名を明記することが望ましい）  ※支援実績１件あたりＡ４用紙０．５ページ以内（目安）  ※代表例を３つ記載出来ない場合は、その理由を「実績（２）又は実績（３）欄に記載すること |
| 実績（２） |
|  |
| 実績（３） |
|  |

|  |
| --- |
| **3.支援パートナーとしての具体的な支援ツール又は支援ノウハウ** |
| 対象となる国・地域：東南アジア |
| 対象となる商材：伝統的工芸品 |
| (1)支援ツール・支援ノウハウの概要 |
| 支援ツール・支援ノウハウの概要を簡潔に記入してください。 |
| (2)支援ツール・支援ノウハウの特徴 |
| ①支援ツール・支援ノウハウの詳細 |
| 支援ツール（または匹敵するノウハウ）について他社の支援ツールとの違いなど特徴のある点について具体的に記載してください。  ※申請者が提携企業と連携して支援を行う場合は、提携企業の支援内容も記載してください。 |
| ②ターゲットとなる中小企業者 |
| どの様な事業者に支援ツール（または匹敵するノウハウ）を活用してほしいか記載してください。  なお、既に支援を検討している具体的な事業者がいる場合には、その事業者名等を加えて記載してください。  例）海外の方がもとめる日本らしい商品や体験サービスを持っている方  　　既に自社サイトなどで海外向けに販売しているが売上が伸び悩んでいる方 |

|  |
| --- |
| **4.公的機関との関わり** |
| これまでに、公的な機関（国・地方公共団体・独立行政法人等を含む）から依頼されて委員やアドバイザー等に就任した実績 |
| 例）経済産業省　〇〇補助金　審査委員（Ｈ２８～）  　　〇〇県　　　〇〇検討会議　委員（Ｒ２） |

|  |
| --- |
| **5.論述問題** |
| **＜論述テーマ＞**  **今後半年は海外渡航が難しい状況において、今海外展開を希望する事業者に対し、誰に何をどのようになど５Ｗ１Ｈを明確にして海外展開戦略を提案して下さい。**  　※自由記述式 A4、図表を除き１枚まで |